



『We♥鏡中』

令和8年9月18日

☆彡「みんな誰かの宝もの」だと伝えています

「死ぬな」「自分を大切に」「(他)人も大切に」ということとともに、「みんな誰かの宝もの」であることを伝えています。

とにかく死ななければ…。とともに、命を粗末にする行動をしてはいけません。

今年度は、昨年度以上に自転車の乗り方や、ヘルメットの着用等についても、何度も何度も伝えているのも、命を大切にすることを実践してほしいからです。(今朝も、けがをしている生徒がいて、けがの原因を聞くと、昨日、自転車で転びましたという生徒がいました。命にかかわるけがでなくて良かったのですが…)

昨年度、鏡中学校では、自転車の『加害事故』も『被害事故』も起きています。被害を受けて傷ついてもダメですが、加害者になり人を傷つけてもダメです。

シルバーウィークの連休中も、交通安全、水難事故防止、熱中症対策等々、命を大切にすることを心に留めてほしいので、ご家庭でも今一度の声掛けをお願いします。

そして、「自分を大切にすること」、「(他)人も大切にすること」ためには、どんな言動をすればよいのかを「気づき 考え 行動してほしい」です。

現代の子どもに求められている(大人も一緒だと思いますが…)のは、『自己指導能力』を高めることだと言われています。自分を客観的に理解し、自分をより良い方向に導くために、自分は何をすればよいのかを考え・実践することができれば、貴重な「人財」となり得ます。その方向性として「自分を大切に (他)人も大切に」ということだと考えています。

子どもたちが、自分で気づくことができるように、大人として、保護者として、教師として、本気で心配し、叱り、時には涙することが、私たちに求められていると、私は思います。そのことが、子どもたちが危険な行動をする前に、一度立ち止まって考えてから行動するきっかけになるのだと、私は思っています。

我が子が色々やらかして学校に保護者召喚されたとき、終わって帰宅した時に私は、『どんな状況になっても味方になるけれど、人として恥ずかしくない行動をしよう』とだけ、我が子に話しました。

愛されている実感を持っていない子どもが多いのではないかなと思うようなことも度々あります。優しく声掛けすることは基本ですが、それだけではダメな時があります。機会あるごとに、大人として、保護者として、教師としての思いを伝えることが大切だと考えています。保護者の皆様は実践されていると思いますが…。

☆彡自転車通学の見直しで、新たなステッカーになります

1学期末にお伝えしていた自転車通学の見直しにともない、新たなステッカー(許可地域の生徒は「赤色」、部活動等の活動場所で特別な許可の生徒は「黄色」のステッカー)の交付を受けた生徒だけが、シルバーウィーク後に自転車通学許可となります。(自転車点検が間に合っていない生徒や駅伝練習期間だけ許可された生徒などもあります。)

地域の住民の方々や民生委員会でも、鏡中生の自転車通学中の事故を心配される声が、何度も寄せられています。

鏡中の場合、学校の近くの道路に、路地や人通り・車通行の多い道路が存在することに加え、小学校が近接していることで、非常に混雑した中を自転車が通行する状態になっています。昨年度、自転車の『加害事故』・『被害事故』が起きたのは、中学生の自転車の乗り方にも要因がありますが、鏡中の立地に伴う道路状況も要因の一つになっていると考えています。

そのことを考えると、自転車通学の総量を適正規模にすることが必要です。

帰宅時間等については、暗い中での帰宅とならないよう、日没前に帰宅可能な時刻に最終下校時刻を設定するなどしてまいります。

ご理解・ご協力をお願いいたします。